

## 倉敷市公園条例

平成 17 年 7 月 27 日

条例第 96 号

改正 平成 17 年 12 月 26 日条例第 183 号

平成 18 年 12 月 28 日条例第 72 号

平成 19 年 3 月 29 日条例第 19 号

平成 21 年 3 月 26 日条例第 23 号

平成 22 年 2 月 26 日条例第 2 号

平成 22 年 9 月 28 日条例第 45 号

平成 24 年 12 月 19 日条例第 71 号

平成 25 年 12 月 26 日条例第 50 号

平成 26 年 3 月 26 日条例第 27 号

平成 27 年 3 月 18 日条例第 35 号

平成 30 年 6 月 26 日条例第 47 号

平成 31 年 2 月 21 日条例第 1 号

平成 31 年 3 月 22 日条例第 3 号

令和元年 6 月 26 日条例第 37 号

倉敷市公園条例（昭和 45 年倉敷市条例第 13 号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この条例は、都市公園法（昭和 31 年法律第 79 号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （1） 公園 法第 2 条第 1 項に規定する都市公園及び本市が設置する児童遊園をいう。
- （2） 公園施設 法第 2 条第 2 項に規定する公園施設及び児童遊園の区域内に存する施設をいう。
- （3） 街区公園 都市公園法施行令（昭和 31 年政令第 290 号。以下「政令」という。）第 2 条第 1 号に規定する都市公園をいう。

( 4 ) 近隣公園 政令第 2 条第 2 号に規定する都市公園をいう。

( 5 ) 地区公園 政令第 2 条第 3 号に規定する都市公園をいう。

( 6 ) 運動施設 政令第 5 条第 4 項に規定する運動施設をいう。

( 市民 1 人当たりの都市公園の敷地面積 )

第 2 条の 2 市の区域内の都市公園の市民 1 人当たりの敷地面積は、10 平方メートル以上を標準とし、市街地の都市公園の市街地に居住する市民 1 人当たりの敷地面積は、5 平方メートル以上を標準とする。

( 都市公園の配置及び規模 )

第 2 条の 3 次の各号に掲げる都市公園を設置する場合には、それぞれの特質に応じて都市公園の分布の均衡を図り、かつ、防火、避難等災害の防止に資するよう考慮して配置するものとし、その規模は、当該各号に定める敷地面積を標準とする。

( 1 ) 街区公園 0.25 ヘクタール

( 2 ) 近隣公園 2 ヘクタール

( 3 ) 地区公園 4 ヘクタール

2 前項に規定する都市公園以外の都市公園を設置する場合には、それぞれの利用目的に応じて都市公園としての機能を十分発揮することができるように配置し、及びその敷地面積を定めるものとする。

( 公園施設の建築面積 )

第 2 条の 4 法第 4 条第 1 項の規定による公園施設として設けられる建築物の建築面積の総計の当該都市公園の敷地面積に対する割合は、100 分の 2 とする。

2 法第 4 条第 1 項ただし書の規定による前項の割合を超えることができる範囲は、規則で定める。

( 特定公園施設の設置に関する基本方針 )

第 2 条の 5 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成 18 年法律第 91 号。以下「移動等円滑化法」という。）第 2 条第 13 号に規定する特定公園施設は、高齢者、障害者等の移動又は施設の利用に係る身体負担を軽減することにより、その移動上又は施設の利用上の利便性及び安全性に配慮して設置しなければならない。

( 都市公園移動等円滑化基準 )

第 2 条の 6 移動等円滑化法第 13 条の規定による都市公園移動等円滑化基準は、前条の規定

に適合するよう規則で定める。

（運動施設に関する制限）

第2条の7 政令第8条第1項の規定により条例で定める一の都市公園に設ける運動施設の敷地面積の総計の当該都市公園の敷地面積に対する割合は、100分の50とする。ただし、倉敷運動公園に係る当該割合は、100分の60とする。

（設置、変更及び廃止）

第3条 公園を設置し、若しくは廃止し、又はその区域等を変更するときは、市長は、次の各号の区分に従い、当該各号に掲げる事項を告示しなければならない。

（1） 設置の場合 名称、位置、区域及び供用開始の期日

（2） 廃止又は区域等の変更の場合 名称、位置並びに廃止又は変更の区域等及び期日

（行為の制限）

第4条 公園において、次に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

（1） 行商、募金、興行その他これらに類する行為をすること。

（2） 業として写真、映画等を撮影すること。

（3） 競技会、展示会、博覧会、集会その他これらに類する催しをすること。

（4） 前3号に掲げるもののほか、公園の全部又は一部を独占して利用すること。

2 前項の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。

（1） 申請者の住所及び氏名

（2） 行為を行う場所又は公園施設

（3） 行為の目的

（4） 行為の内容

（5） 行為の期間

（6） 前各号に掲げるもののほか、市長の指示する事項

3 第1項の許可を受けた者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、当該事項を記載した申請書を市長に提出して、その許可を受けなければならない。

4 市長は、第1項各号に掲げる行為が公衆の公園の利用に支障を及ぼさず、かつ、適当と認める場合に限り、第1項又は前項の許可を与えることができる。

5 市長は、第1項又は第3項の許可に公園の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

(許可の特例)

第5条 法第6条第1項若しくは第3項又は第12条の許可を受けた者は、当該許可に係る事項については、前条第1項又は第3項の許可を受けることを要しない。

(行為の禁止)

第6条 公園においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、法第5条第1項、法第6条第1項若しくは第3項、第4条第1項若しくは第3項又は第13条の許可に係るものについては、この限りでない。

- (1) 公園を損傷し、又は汚損すること。
- (2) 竹木を伐採し、若しくは損傷し、又は植物を採取すること。
- (3) 土地の形質を変更すること。
- (4) 鳥獣魚類を捕獲し、又は殺傷すること。
- (5) はり紙若しくははり札をし、又は広告及びこれらに類するものを表示すること。
- (6) 立入禁止区域に立ち入ること。
- (7) 指定された場所以外の場所へ車両を乗り入れ、又は留め置くこと。
- (8) 公園をその用途以外に使用すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、公園の利用及び管理に支障がある行為をすること。

(利用の禁止又は制限)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、公園を保全し、又はその利用者の危険を防止するため、区域を定めて公園の利用を禁止し、又は制限することができる。

- (1) 公園の損壊その他の理由により、その利用が危険であると認められるとき。
- (2) 公園に関する工事のためやむを得ないと認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、公園の管理上必要があると認められるとき。

(公園施設の設置若しくは管理又は占用の許可の申請書の記載事項)

第8条 法第5条第1項の条例で定める事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 公園施設を設けようとするときは、次に掲げる事項
  - ア 申請者の住所及び氏名
  - イ 設置の目的

ウ 設置の期間

エ 設置の場所

オ 公園施設の構造

カ 公園施設の管理の方法

キ 工事実施の方法

ク 工事の着手及び完了の時期

ケ 公園の復旧の方法

コ その他市長の指示する事項

(2) 公園施設を管理しようとするときは、次に掲げる事項

ア 申請者の住所及び氏名

イ 管理の目的

ウ 管理の期間

エ 管理しようとする公園施設名及び位置

オ 管理の方法

カ その他市長の指示する事項

(3) 許可を受けた事項を変更しようとするときは、次に掲げる事項

ア 申請者の住所及び氏名

イ 変更する事項

ウ 変更する理由

エ その他市長の指示する事項

2 法第6条第2項の条例で定める事項は、次に掲げるものとする。

(1) 申請者の住所及び氏名

(2) 占用の場所

(3) 占用の目的

(4) 占用の期間

(5) 設置しようとする占用物件の種類及び数量

(6) 占用物件の構造

(7) 工事の着手及び完了の時期

(8) 工事実施の方法

( 9 ) 占用物件の管理の方法

( 10 ) 原状回復の方法

( 11 ) 前各号に掲げるもののほか、市長の指示する事項

( 添付書類 )

第 9 条 公園施設の設置若しくは公園の占用の許可を受けようとする者又はそれらの許可を受けた事項の一部を変更しようとする者は、当該許可の申請書に設計書、仕様書及び図面を添付しなければならない。

( 有料公園施設 )

第 10 条 公園施設のうち有料で使用させるもの(以下「有料公園施設」という。)は、別表第 1 に掲げるとおりとする。

( 供用日及び供用時間 )

第 11 条 有料公園施設の供用日及び供用時間は、別表第 2 のとおりとする。ただし、市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

( 有料公園施設の使用の許可 )

第 12 条 有料公園施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に際し、有料公園施設の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

( 目的外使用の許可 )

第 13 条 有料公園施設の敷地内において、次に掲げる行為をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

( 1 ) 売店、自転車預り等をするとき。

( 2 ) 広告物の掲示をするとき。

2 第 4 条第 2 項から第 5 項までの規定は、前項の規定による許可を行う場合についてこれを準用する。

3 法第 6 条第 1 項又は第 3 項の許可を受けた者は、当該許可に係る事項については、第 1 項の許可を受けることを要しない。

( 使用料 )

第 14 条 法第 5 条第 1 項又は法第 6 条第 1 項若しくは第 3 項の許可を受けた者は、別表第 3 の 1 及び 2 に掲げる使用料を納付しなければならない。ただし、電気通信事業者及び電気事

業者が電気通信及び電気供給のための線路設置のために使用する場合は、電気通信事業法施行令（昭和60年政令第75号）別表第1のとおりとする。

2 第4条第1項又は第3項の許可を受けた者は、別表第3の3の規定により算定した額の使用料を納付しなければならない。

3 第12条第1項の許可を受けた者は、別表第3の4の規定により算定した額の使用料を納付しなければならない。

4 前条第1項の許可を受けた者は、別表第3の5の規定により算定した額の使用料を納付しなければならない。

5 第2項から前項までの場合において、確定金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

6 第2項から第4項までの規定による使用料の額には、消費税及び地方消費税を含む。

（使用料の徴収）

第15条 使用料は、公園施設の設置若しくは管理、公園の占用、第4条第1項に掲げる行為、有料公園施設の使用又は第13条第1項に掲げる行為（以下「公園の使用」という。）の許可の際（有料公園施設中市営水泳場の使用（専用使用の場合を除く。）については、当該使用の申込みの際）徴収する。ただし、市長が特別な理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

2 公園の使用が長期にわたる場合には、使用料の年額又は月額を定め、納期を指定して徴収することができる。

3 使用者が入場料を徴収する場合は、別表第3に定める最低金額を使用料として前納し、使用終了後3日以内に精算して残額を納付しなければならない。

（使用料の不還付）

第16条 既納の使用料は、返還しない。ただし、使用者に帰することのできない理由により公園の使用ができなくなったとき又は市長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

（使用料の減免）

第17条 市長は、公園の使用の目的が公益によるとき又は特に必要と認めるときは、使用料を減免することができる。

（権利の譲渡禁止等）

第18条 公園の使用の許可を受けた者は、その権利を他人に譲り渡し、又は転貸してはなら

ない。

(届出)

第19条 次の各号のいずれかに該当する場合には、当該行為をした者は、速やかにその旨を市長に届け出なければならない。

(1) 法第5条第1項又は法第6条第1項若しくは第3項の許可を受けた者(以下「許可を受けた者」という。))が、公園施設の設置又は公園の占有に関する工事を完了したとき。

(2) 許可を受けた者が、公園施設の設置若しくは管理又は公園の占有を廃止したとき。

(3) 許可を受けた者が、法第10条第1項の規定により公園を原状に回復したとき。

(4) 法第26条第2項又は第4項の規定により必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。

(5) 法第27条第1項又は第2項の規定により必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。

(6) 公園を構成する土地物件について、所有権を移転し、又は抵当権を設定し、若しくは移転したとき。

(7) 第21条第1項又は第2項の規定により必要な措置を命ぜられた者が、命ぜられた工事を完了したとき。

(検査)

第20条 市長は、公園の管理上又は公益上必要があると認めるときは、法令又はこの条例による許可事項その他必要と認める事項について使用者から報告を求め、又は当該職員若しくは指定管理者の従事者に必要な場所に立ち入らせ、調査又は検査をさせることができる。

(監督処分)

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、この条例の規定によってした許可を取り消し、その効力を停止し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくは公園からの退去を命ずることができる。

(1) この条例又はこの条例の規定に基づく処分に違反している者

(2) この条例の規定による許可に付した条件に違反している者

(3) 偽りその他不正な手段によりこの条例の規定による許可を受けた者

2 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合には、この条例の規定による許可を受けた者に対し、前項に規定する処分をし、又は同項に規定する必要な処置を命ずることがで



きる。

- ( 1 ) 公園に関する工事のためやむを得ない必要が生じたとき。
- ( 2 ) 公園の保全又は公衆の公園利用に著しい支障が生じたとき。
- ( 3 ) 公園の管理上の理由以外の理由に基づく公益上やむを得ない必要が生じたとき。

( 工作物等を保管した場合の公示事項 )

第 2 2 条 法第 2 7 条第 5 項の条例で定める事項は、次に掲げるものとする。

- ( 1 ) 保管した工作物その他の物件又は施設 ( 以下「工作物等」という。 ) の名称又は種類、形状及び数量
- ( 2 ) 保管した工作物等の放置されていた場所及び当該工作物等を除去した日時
- ( 3 ) 保管した工作物等の保管を始めた日時及び保管の場所
- ( 4 ) 前 3 号に掲げるもののほか、保管した工作物等を返還するために必要と認められる事項

( 工作物等を保管した場合の公示の方法 )

第 2 3 条 法第 2 7 条第 5 項の規定による公示は、次に掲げる方法により行わなければならない。

- ( 1 ) 前条各号に掲げる事項を、保管を始めた日から起算して 1 4 日間、規則で定める場所に掲示すること。
- ( 2 ) 前号の掲示に係る工作物等のうち、特に貴重と認められる工作物等については、同号の掲示の期間が満了しても、なおその工作物等の所有者、占有者その他当該工作物等について権原を有する者 ( 第 2 6 条において「所有者等」という。 ) の氏名及び住所を知ることができないときは、その公示の要旨をインターネットの本市ホームページに登載すること。

2 市長は、所定の保管工作物等一覧簿を規則で定める場所に備え付け、関係者に閲覧させることにより、前項第 1 号の規定による掲示に代えることができる。

( 工作物等の価額の評価の方法 )

第 2 4 条 法第 2 7 条第 6 項の規定による工作物等の価額の評価は、取引の実例価格、当該工作物等の使用年数、損耗の程度その他当該工作物等の価額の評価に関する事情を勘案してするものとする。この場合において、市長は、必要と認めるときは、工作物等の価額の評価に関し、専門的知識を有する者の意見を聴くことができる。

（保管した工作物等を売却する場合の手続）

第 25 条 法第 27 条第 6 項の規定による保管した工作物等の売却は、倉敷市財務規則（昭和 42 年倉敷市規則第 22 号）又は倉敷市工事執行規則（昭和 49 年倉敷市規則第 16 号）に準じ、競争入札に付して行わなければならない。ただし、競争入札に付しても入札者がいない工作物等その他競争入札に付することが適当でないと認められる工作物等については、随意契約により売却することができる。

（工作物等を返還する場合の手続）

第 26 条 市長は、保管した工作物等（法第 27 条第 6 項の規定により売却した代金を含む。）を当該工作物等の所有者等に返還するときは、返還を受ける者にその氏名及び住所を証するに足りる書類を提示させる等の方法によってその者がその工作物等の返還を受けるべき工作物等の所有者等であることを証明させ、かつ、所定の受領書と引換えに返還するものとする。

（指定管理者による公園の管理）

第 27 条 公園又は公園施設の管理は、公園施設の全部若しくは一部又は公園の区域を定めて倉敷市公の施設指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 15 年倉敷市条例第 54 号）に基づき、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第 28 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- （ 1 ） 公園又は公園施設の維持管理に関する業務
- （ 2 ） 有料公園施設の使用の許可に関する業務
- （ 3 ） 有料公園施設の使用料の徴収に関する業務
- （ 4 ） 公園又は公園施設の設置目的を達成するための業務
- （ 5 ） 公園又は公園施設の利用者の利便性を向上させるために必要な業務
- （ 6 ） 前各号に掲げるもののほか、公園又は公園施設の運営に関する事務のうち、市長のみの権限に関する事務を除く業務

（指定管理者の権限）

第 29 条 指定管理者は、指定が効力を有する間、第 7 条、第 11 条、第 12 条及び第 20 条に規定する市長の権限を行うものとする。ただし、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 11 項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間

における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

（利用料金）

第30条 市長は、公園又は公園施設の管理を第27条の規定により指定管理者に行わせる場合において適当と認めるときは、指定管理者に有料公園施設の利用に係る料金（第12条第1項の規定による許可に係るものに限る。以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の場合において、利用料金は、第14条第3項の規定にかかわらず別表第3の4及び照明施設等の使用について定める規則に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。利用料金を変更しようとするときも、また同様とする。

3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ、利用料金の額の案を作成し、市長に承認を申請するものとする。

4 指定管理者は、第2項の規定により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、有料公園施設において利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。

5 指定管理者は、第1項に規定する場合において、市長の承認を得て定める基準により、利用料金の全部若しくは一部を還付し、又は利用料金を減免することができる。

（損害賠償）

第31条 公園又は公園施設を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示に基づいてこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

（公園予定区域及び予定公園施設についての準用）

第32条 第4条から前条までの規定は、法第33条第4項に規定する公園予定区域又は予定公園施設について準用する。

（児童遊園の準用）

第33条 児童遊園の占用許可及び監督処分については、法の規定を準用する。

（委任）

第34条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

（罰則）

第35条 次の各号のいずれかに該当する者に対して、5万円以下の過料を科することができる。

る。

( 1 ) 第 4 条第 1 項又は第 3 項( 第 3 2 条においてこれらの規定を準用する場合を含む。 ) の規定に違反して、同条第 1 項各号に掲げる行為をした者

( 2 ) 第 6 条( 第 3 2 条において準用する場合を含む。 ) の規定に違反して、同条各号に掲げる行為をした者

( 3 ) 第 2 1 条第 1 項又は第 2 項( 第 3 2 条においてこれらの規定を準用する場合を含む。 ) の規定による市長の命令に違反した者

第 3 6 条 詐欺その他不正の行為により、使用料の徴収を免れた者に対しては、その徴収を免れた額の 5 倍に相当する額( 当該 5 倍に相当する額が 5 万円を超えないときは、5 万円とする。 ) 以下の過料を科することができる。

( 両罰規定 )

第 3 7 条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、前 2 条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、各本条の過料を科する。

附 則

( 施行期日 )

1 この条例は、平成 1 7 年 8 月 1 日から施行する。

( 船穂町及び真備町の編入に伴う経過措置 )

2 船穂町及び真備町( 以下「両町」という。 ) の編入の日( 以下「編入日」という。 ) 前に船穂町体育施設条例( 昭和 4 2 年船穂町条例第 1 6 号 )、船穂町ふれあい公園条例( 平成 8 年船穂町条例第 1 6 号 ) 若しくは船穂町グラウンドゴルフ場施設管理条例( 平成 1 6 年船穂町条例第 2 号 ) 又は真備町都市公園条例( 昭和 5 9 年真備町条例第 8 号 ) ( 以下「両町条例」という。 ) の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

3 編入日前になされた両町条例の規定による許可に係る使用料に関する取扱いについては、この条例の規定にかかわらず、両町条例の例による。

4 編入日前に両町の区域内においてした行為及び前項の規定により両町条例の例によることとされる使用料の徴収を免れる行為で編入日以後にしたものに対する罰則の適用については、両町条例の例による。

附 則（平成 17 年 12 月 26 日条例第 183 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 18 年 12 月 28 日条例第 72 号抄）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 29 日条例第 19 号）

この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 3 月 26 日条例第 23 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 22 年 2 月 26 日条例第 2 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 22 年 9 月 28 日条例第 45 号）

この条例は、規則で定める日から施行する。

（平成 22 年 12 月規則第 73 号で、同 23 年 1 月 6 日から施行）

附 則（平成 24 年 12 月 19 日条例第 71 号）

この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 12 月 26 日条例第 50 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

6 この条例（第 1 条及び第 34 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成 26 年 3 月 26 日条例第 27 号）

（施行期日）

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日以後に使用するために同日前に倉敷市営グラウンドゴルフ場の使用許可を受けた者は、倉敷市公園条例第 14 条第 3 項の規定にかかわらず、使用料を納付することを要しない。

附 則（平成 27 年 3 月 18 日条例第 35 号）

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 30 年 6 月 26 日条例第 47 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 31 年 2 月 21 日条例第 1 号）

この条例は、平成 31 年 3 月 1 日から施行する。

附 則（平成 31 年 3 月 22 日条例第 3 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

6 この条例（第 2 条及び第 32 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（令和元年 6 月 26 日条例第 37 号）

（施行期日）

1 この条例中第 1 条及び次項の規定は公布の日から、第 2 条の規定は令和元年 10 月 1 日から施行する。

（関係条例の一部改正）

2 消費税法等の改正に伴う各種使用料等の改定に関する条例（平成 31 年倉敷市条例第 3 号）の一部を次のように改正する。

第 40 条のうち、倉敷市公園条例別表第 3 の 4 の項イ（ア）の表の改正規定を次のように改める。

別表第 3 の 4 の項イ（ア）の表中「324 円」を「330 円」に、「162 円」を「165 円」に改める。

第 40 条のうち、倉敷市公園条例別表第 3 の 4 の項ウ（ア）a の表の改正規定中「1,080 円」を「1,100 円」に」及び「1,296 円」を「1,320 円」に」を削り、同条例別表第 3 の 4 の項ウ（イ）a の表の改正規定中「別表第 3 の 4 の項ウ（イ）a の表」を「別表第 3 の 4 の項ウ（イ）の表」に改め、同条例別表第 3 の 4 の項ウ（イ）b の表の改正規定及び別表第 3 の 4 の項キ（エ）の表の改正規定を削り、同条例別表第 3 の 4 の項ケの表

の改正規定中「別表第 3 の 4 の項ケの表」を「別表第 3 の 4 の項ケの表真備総合公園の項」に改める。

別表第 1（第 10 条関係）

有料公園施設

有料公園施設の属する公園の名称	有料公園施設
倉敷運動公園	野球場
	テニスコート
	軟式野球場
	陸上競技場（サッカー場兼用）
	弓道場
	ウエイトリフティング場
酒津公園	軟式野球場
水島緑地福田公園	野球場
	テニスコート
	陸上競技場（サッカー場兼用）
	サッカー場兼ラグビー場
	体育館
	水泳場
水島中央公園	水泳場
	軟式野球場
	テニスコート
中山公園	野球場
	テニスコート
	陸上競技場（サッカー場兼用）
	軟式野球場
	体育館
児島地区公園	水泳場
玉島の森	野球場

	体育館
	多目的広場
	テニスコート
	水泳場
真備総合公園	軟式野球場
	テニスコート
	体育館
	多目的広場

別表第 2（第 11 条関係）

有料公園施設名	供用日	供用時間	備考
倉敷市営野球場及び 倉敷市営軟式野球場	1 月 5 日から 2 月末日 まで及び 10 月 1 日か ら 12 月 27 日まで	午前 8 時 30 分から午 後 5 時まで	照明施設の使用は、3 月 1 日から 11 月 30 日 までの午後 5 時から午 後 9 時までとし、照明施 設のある野球場及び軟 式野球場は、午後 9 時ま で供用時間を延長する ことができる。
	3 月 1 日から同月 31 日まで	午前 8 時 30 分から午 後 6 時まで	
	4 月 1 日から同月 30 日まで及び 9 月 1 日か ら同月 30 日まで	午前 6 時から午後 6 時 まで	
	5 月 1 日から 8 月 31 日まで	午前 6 時から午後 7 時 まで	
倉敷市営テニスコ ート	1 月 5 日から 2 月末日 まで及び 10 月 1 日か ら 12 月 27 日まで	午前 8 時 30 分から午 後 5 時まで	照明施設の使用は、午後 5 時から午後 9 時まで とし、照明施設のあるテ ニスコートは、午後 9 時 まで供用時間を延長す ることができる。
	3 月 1 日から同月 31 日まで	午前 8 時 30 分から午 後 6 時まで	
	4 月 1 日から同月 30 日まで及び 9 月 1 日か ら同月 30 日まで	午前 7 時から午後 6 時 まで	



		5月1日から8月31日まで	午前7時から午後7時まで	
倉敷市営水泳場(水島緑地福田公園水泳場の25m幼児併用プールを除く。)		7月20日から8月19日まで	午前10時から午前12時まで、午後1時から午後3時まで及び午後3時30分から午後5時30分まで	専用使用の場合の供用時間は、午前8時から午後6時までとする。
		8月20日から同月30日まで	午前10時から午前12時まで及び午後1時から午後3時まで	
水島緑地福田公園水泳場(25m幼児併用プールに限る。)	屋内プール	5月1日から7月15日まで及び9月1日から10月31日まで(木曜日(国民の休日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。))に規定する休日に当たるときは、その翌日)を除く。)	午前10時から午前12時まで、午後1時から午後3時まで及び午後3時30分から午後5時30分まで	専用使用の場合の供用時間は、午前8時から午後6時までとする。
	屋外プール	7月20日から8月19日まで	午前10時から午前12時まで、午後1時から午後3時まで及び午後3時30分から午後5時30分まで	

		8月20日から 同月30日まで	午前10時から午前1 2時まで及び午後1時 から午後3時まで	
児島地区公園水泳場	温水プール	1月6日から7 月19日まで及 び8月31日か ら12月28日 まで(毎月1日及 び15日を除 く。)	午前9時30分から午 後9時30分まで(日曜 日及び祝日法に規定す る休日に当たるときは、 午前9時30分から午 後7時30分まで)	
	冷水プール	7月20日から 8月30日まで (8月1日及び 15日を除く。)		
	飛び込みプール	5月1日から9 月30日まで(毎 月1日及び15 日を除く。)		
倉敷市営陸上競技場 (サッカー場兼ラグ ビー場を含む。)		1月5日から2月末日 まで及び10月1日か ら12月27日まで	午前8時30分から午 後5時まで	照明施設の使用は、午後 5時から午後9時まで とし、照明施設のある陸 上競技場は、午後9時ま で供用時間を延長する ことができる。
		3月1日から同月31 日まで	午前8時30分から午 後6時まで	
		4月1日から同月30 日まで及び9月1日か ら同月30日まで	午前6時から午後6時 まで	
		5月1日から8月31 日まで	午前6時から午後7時 まで	

倉敷市営弓道場	1月5日から12月27日まで	午前8時30分から午後9時まで	
倉敷市営体育館	1月5日から12月27日まで	午前8時から午後9時まで	
倉敷市営ウエイトリフティング場	1月5日から12月27日まで	午前8時から午後9時まで	
倉敷市営多目的広場 (玉島の森多目的広場を除く。)	1月5日から12月27日まで	午前9時から午後5時まで	
玉島の森多目的広場	1月5日から2月末日まで及び10月1日から12月27日まで	午前8時30分から午後5時まで	照明施設の使用は、午後5時から午後9時までとし、照明施設を使用する場合、午後9時まで供用時間を延長することができ。
	3月1日から同月31日まで	午前8時30分から午後6時まで	
	4月1日から同月30日まで及び9月1日から同月30日まで	午前6時から午後6時まで	
	5月1日から8月31日まで	午前6時から午後7時まで	

別表第3（第14条，第15条，第30条関係）

1 公園施設を設け又は管理する場合

区分	種別	単位		使用料
公園施設の設置	公園施設	1平方メートル	1年	200円以内
	舟遊施設	浮遊船1隻	1月	150円
		船着場1平方メートル		10円
その他の施設の設置	その他の施設			市長がその都度定める。

2 公園を占用する場合

倉敷市道路占用料徴収条例（昭和４３年倉敷市条例第８３号）別表に規定する額。ただし、占用の期間が１月に満たない場合は、同表の規定により算定した額に１００分の１１０を乗じて得た額とする。

### ３ 第４条第１項に掲げる行為をする場合

種別	単位		金額
業として写真を撮影するもの	写真機１台	１月	６６０円
業として映画を撮影するもの		１日	８，２５０円以内
物品販売，宣伝，興行その他これらに類するもの	１平方メートル	１日	４６円
競技会，集会，展示会，博覧会その他これらに類するもの	１平方メートル	１日	１１円
その他に占用する場合			市長がその都度定める。

### ４ 有料公園施設を利用する場合

#### ア 倉敷市営野球場

##### （ア） 施設の使用

種別	金額	
	倉敷運動公園	水島緑地福田公園，中山公園，玉島の森
職業野球	１時間までごとに５，５００円	１時間までごとに２，２００円
社会人野球，大学野球	１時間までごとに１，１００円	１時間までごとに５５０円
高校野球以下	１時間までごとに５５０円	１時間までごとに３３０円
軟式野球	１時間までごとに５５０円	１時間までごとに３３０円

#### 備考

- １ １時間に満たない場合は、１時間とする。
- ２ 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- ３ 入場料を徴収する場合は、１日につき入場料総額の１割を加算する。
- ４ 照明施設及び冷暖房の使用については、規則で定める額とする。

(イ) 器具の使用

種別	金額	
	倉敷運動公園	水島緑地福田公園，中山公園，玉島の森
放送器具	1日につき1，100円	1日につき1，100円
スコアボード	1日につき3，300円	1日につき1，650円

(ウ) 附属施設の使用

種別	金額
会議室	1時間につき110円
研修室	1時間につき110円
多目的トレーニング室	1時間につき110円
温水シャワー室	1チーム1回につき330円
	1人1回につき33円

備考

- 1時間に満たない場合は，1時間とする。
- 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。

イ 倉敷市営テニスコート

(ア) 施設の使用

種別	金額(1コートにつき)
一般，大学生	1時間までごとに330円
高校生以下	1時間までごとに165円

備考

- 1時間に満たない場合は，1時間とする。
- 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 入場料を徴収する場合は，1日につき入場料総額の1割を加算する。
- 照明施設及び冷暖房の使用については，規則で定める額とする。

(イ) 器具の使用

種別	金額
----	----

放送器具	1日につき550円
------	-----------

(ウ) 附属施設の使用

種別	金額
会議室	1時間につき110円

ウ 倉敷市営水泳場

(ア) 水島中央公園，玉島の森水泳場

a 施設の使用

種別		単位	金額	
			50mプール	幼児・円型プール
専用使用	平日	1時間につき	2,200円	550円
	日曜日，休日	1時間につき	2,640円	660円
一般個人使用	小学生以下	1人1回2時間につき	55円	
	中学生，高校生	1人1回2時間につき	77円	
	その他の者	1人1回2時間につき	110円	
	団体使用	50人以上100人未満の団体	1人1回2時間につき	所定料金の1割引
		100人以上300人未満の団体	1人1回2時間につき	所定料金の2割引
		300人以上の団体	1人1回2時間につき	所定料金の3割引

備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは，当該単位未満の時間を1単位として計算する。
- 2 休日とは，祝日法に規定する休日をいう。
- 3 使用者が水の使用替えを必要とする場合は，使用者の実費負担により行うものとする。

b 器具の使用

種別	単位	金額
放送器具	一式1回につき	1,100円

(イ) 水島緑地福田公園水泳場

種別		単位	金額		
			屋外プールとして供用する期間		屋内プールとして供用する期間
			50mプール	25m幼児併用プール	25m幼児併用プール
専用使用	平日	1時間につき	2,200円	1,100円	2,200円
	日曜日, 休日	1時間につき	2,640円	1,320円	2,640円
一般個人使用	小学生以下	1人1回2時間につき	55円		110円
		中学生, 高校生	77円		165円
		その他の者	110円		220円
	団体使用	50人以上100人未満の団体	1人1回2時間につき 所定料金の1割引		
		100人以上300人未満の団体	1人1回2時間につき 所定料金の2割引		
		300人以上の団体	1人1回2時間につき 所定料金の3割引		

備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは, 当該単位未満の時間を1単位として計算する。
- 2 休日とは, 祝日法に規定する休日をいう。
- 3 屋外プール及び屋内プールとして供用する期間については, 市長が別に定める期間とする。
- 4 使用者が水の使用替えを必要とする場合は, 使用者の実費負担により行うものとする。
- 5 冷暖房の使用については, 規則で定める額とする。

(ウ) 児島地区公園水泳場

a 施設の使用

種別		単位	金額			
			冷水プールとして供用する期間		温水プールとして供用する期間	飛び込みプール
			50mプール	25mプール	25mプール	
専用使用	平日	1時間につき	2,200円	1,100円	2,200円	2,200円
	日曜日, 休日	1時間につき	2,640円	1,320円	2,640円	2,640円
一般個人使用	小学生以下	1人1回2時間につき	55円		110円	
		1人1月につき			1,320円	
	中学生, 高校生	1人1回2時間につき	77円		165円	
		1人1月につき			1,980円	
	その他の者	1人1回2時間につき	110円		220円	
		1人1月につき			2,640円	
	団体使用	50人以上100人未満の団体	1人1回2時間につき	所定料金の1割引		
		100人以上300人未満の団体	1人1回2時間につき	所定料金の2割引		
		300人以上の団体	1人1回2時間につき	所定料金の3割引		

備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは、当該単



位未満の時間を 1 単位として計算する。

- 2 休日とは、祝日法に規定する休日をいう。
- 3 冷水プール及び温水プールとして供用する期間については、市長が別に定める期間とする。
- 4 使用者が水の使用替えを必要とする場合は、使用者の実費負担により行うものとする。
- 5 回数券は、1 冊（11 枚つづり）小学生以下 1,100 円、中学生、高校生 1,650 円及びその他の者 2,200 円とする。
- 6 専用使用は、プールの半分を使用できるものとし、その場合の使用料は、所定金額の半分とする。
- 7 冷水プールとして供用する期間については、回数券の発行は行わない。

b 附属施設の使用

種別	金額
会議室（大）	1 時間につき 220 円
会議室（小）	1 時間につき 110 円
役員控室	1 時間につき 165 円
選手控室	1 時間につき 165 円
多目的ホール	1 時間につき 385 円

備考

- 1 1 時間に満たない時間は、1 時間とする。
- 2 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 冷暖房の使用については、規則で定める額とする。

（エ） 附属設備の使用

種別	単位	金額
コインロッカ ー	小型	1 個 1 回につき 30 円
	大型	1 個 1 回につき 50 円
放送器具	一式 1 回につき	1,100 円

エ 倉敷市営軟式野球場

（ア） 施設の使用

施設	金額
倉敷運動公園，中山公園，水島中央公園	1 時間までごとに 2 2 0 円
酒津公園	1 時間までごとに 1 6 5 円
真備総合公園	1 時間までごとに 3 3 0 円

備考

- 1 時間に満たない場合は，1 時間とする。
- 2 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 照明施設及び冷暖房の使用については，規則で定める額とする。

(イ) 器具の使用

施設名	種別	単位	金額
真備総合公園	放送器具	1 日につき	1 , 1 0 0 円
	スコアボード	1 日につき	6 6 0 円

オ 倉敷市営陸上競技場及び倉敷市営サッカー場兼ラグビー場

(ア) 施設の使用

施設名	種別		単位	金額
倉敷運動公園陸上競技場	個人使用	一般，大学生	2 時間につき	1 1 0 円
		高校生以下	2 時間につき	7 7 円
	専用使用		1 時間につき	1 , 1 0 0 円
水島緑地福田公園，中山公園	個人使用		2 時間につき	3 3 円
陸上競技場	専用使用		1 時間につき	3 3 0 円
	部分使用（2 分の 1 まで）		1 時間につき	1 6 5 円
水島緑地福田公園サッカー場兼ラグビー場	専用使用		1 時間につき	5 5 0 円

備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは，当該単位未満の時間を 1 単位として計算する。
- 2 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 入場料を徴収する場合は，1 日につき入場料総額の 1 割を加算する。

4 照明施設及び冷暖房の使用については、規則で定める額とする。

(イ) 器具、用具の使用

種別	単位	使用料
ストップウォッチ	1個1日につき	33円
スターティングブロック	1個1日につき	33円
バトン	1本1日につき	11円
ハードル	1台1日につき	33円
円盤	1個1日につき	33円
砲丸	1個1日につき	33円
バー	1本1日につき	33円
やり	1本1日につき	33円
周回表示器	1台1日につき	55円
鋼鉄製巻尺	1個1日につき	55円
走り高跳び用支柱及びバー止	1対1日につき	55円
棒高跳び用支柱及びバー止	1対1日につき	55円
走り高跳び高度計	1本1日につき	110円
棒高跳び高度計	1本1日につき	110円
マット	1枚1日につき	220円
ピストル	1丁1日につき	33円
ハンマー	1個1日につき	33円
マラソン用親時計	1個1日につき	550円
スターター用拡声装置	一式1日につき	1,100円
風向風速計	一式1日につき	110円
3,000mSC移動障害物	一式1日につき	220円
テント	1張1日につき	220円
放送器具	一式1日につき	550円

備考

1 倉庫渡しとする。

2 総額が1日につき5,500円を超える場合は,5,500円とする。

カ 倉敷市営弓道場

(ア) 施設の利用

使用区分	種別	単位	金額
個人使用	一般(大学生)	1回3時間につき	220円
	高校生以下	1回3時間につき	165円
専用使用		1時間につき	550円

備考

- 1 単位時間に満たない時間は,単位時間とする。
- 2 使用時間は,準備,使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 冷暖房の使用については,規則で定める額とする。

(イ) 器具,用具の使用

種別	単位	金額
放送器具	一式1回につき	550円

キ 倉敷市営体育館

(ア) 施設の使用

使用区分\使用時間				昼間	夜間	全日	
				午前 8 時から午後 5 時まで 1 時間につき	午後 5 時から午後 9 時まで 1 時間につき	午前 8 時から午後 9 時まで	
専 用 使 用 の 場 合  合	入場料金等を徴収しない場合	アマチュアスポーツに使用する		福田	1 , 1 0 0 円	1 , 3 2 0 円	1 3 , 2 0 0 円
				中山	8 8 0 円	1 , 1 0 0 円	1 0 , 3 4 0 円
				玉島			
				真備			
		アマチュアスポーツ以外に使用しない催物	営利を目的とし	福田	6 , 6 0 0 円	8 , 2 5 0 円	7 7 , 5 5 0 円

	入場料金等を徴収する場合	する場合		中山	4 , 9 5 0 円	6 , 2 7 0 円	5 8 , 4 1 0 円	
				玉島				
				真備				
			その他の催物	福田	1 9 , 8 0 0 円	2 4 , 7 5 0 円	2 3 2 , 6 5 0 円	
				中山	1 4 , 8 5 0 円	1 9 , 8 0 0 円	1 7 8 , 2 0 0 円	
				玉島				
				真備				
				アマチュアスポーツに使用する場合	福田	1 , 9 8 0 円	2 , 4 2 0 円	2 3 , 1 0 0 円
					中山	1 , 4 3 0 円	1 , 9 8 0 円	1 7 , 3 8 0 円
	玉島							
	真備							
	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	営利を目的としない催物	福田		8 , 2 5 0 円	1 0 , 8 9 0 円	9 8 , 6 7 0 円	
			中山		6 , 2 7 0 円	7 , 9 2 0 円	7 3 , 9 2 0 円	
			玉島					
		その他の催物	福田	2 2 , 0 0 0 円	2 7 , 5 0 0 円	2 5 8 , 5 0 0 円		
中山			1 6 , 5 0 0 円	2 0 , 7 9 0 円	1 9 4 , 3 7 0 円			
玉島								
真備								
部分使用の場合（ 2 分の 1 , 3 分の 1 又は 4 分の 1 に限って使用する場合 ）			福田	専用使用の場合の各区分金額の 2 分の 1 , 3 分の 1 又は 4 分の 1 の額				
	中山							
	玉島							
	真備							

備考

- 1 表中「福田」は水島緑地福田公園の体育館を，「中山」は中山公園の体育館を，「玉島」は玉島の森の体育館を，「真備」は真備総合公園の体育館をいう。
- 2 1時間に満たない時間は，1時間とする。
- 3 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 4 表に掲げる時間帯以外の時間における使用の金額については，午前8時前は昼間分の，午後9時後は夜間分の金額とする。
- 5 土曜日，日曜日及び休日（祝日法に規定する休日をいう。）の使用については，2割増しとする。
- 6 入場料金等を徴収する場合は，最高入場料金等に100を乗じて得た額を加算する。
- 7 特別の設備等に要する費用は，使用者の負担とする。
- 8 照明施設及び冷暖房の使用については，規則で定める額とする。

（イ） 附属施設の使用

種別			単位	金額
会議室			1 時間につき	1 1 0 円
研修室			1 時間につき	1 1 0 円
トレーニング施設（トレーニング室，体力測定室，健康・体力相談室）			1 人 1 回につき	2 2 0 円
多目的ホール	卓球に使用する 場合	一般，大学生	1 人 2 時間につき	1 1 0 円
		高校生以下	1 人 2 時間につき	5 5 円
	その他に使用する 場合		1 時間につき	1 6 5 円
温水シャワー室			1 チーム 1 回につき	3 3 0 円
			1 人 1 回につき	3 3 円

備考

- 1 単位時間に満たない時間は，単位時間とする。
- 2 使用時間は，準備，使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。

（ウ） 器具の使用（1回につき）

種別	貸付器具	単位	金額
バスケットボール	電動式ゴール	一式1面につき	440円

	折畳み式ゴール	一式 1 面につき	2 2 0 円
バレーボール	ポール及びネット	一式 1 面につき	4 4 0 円
ハンドボール	ゴール	一式 1 面につき	4 4 0 円
バドミントン	ポール及びネット	一式 1 面につき	1 1 0 円
テニス	ポール及びネット	一式 1 面につき	4 4 0 円
卓球	ネット及び防球ネット	一式 1 面につき	1 1 0 円
体操	体操器具	1 種目につき	2 2 0 円
レスリング	マット	1 面	4 4 0 円
アーチェリー	的	一式	1 1 0 円
フットサル	ゴール	一式 1 面につき	4 4 0 円
	電光掲示板	1 組	5 5 0 円
	放送器具	一式	5 5 0 円

備考 卓球の器具については、個人使用の場合は、料金を徴収しない。

#### ク 倉敷市営ウエトリフティング場

##### (ア) 施設の使用

種別		単位	金額
アマチュアスポーツに 使用する場合	フロアー全面を使用する場合	1 時間につき	2 2 0 円
	卓球（ネット，防球ネットを含む。）	1 台 1 時間につき	1 1 0 円
	バドミントン（ポール，ネットを含む。）	1 面 1 時間につき	2 2 0 円
アマチュアスポーツ以 外に使用する場合	営利を目的としない催物	1 時間につき	1 , 1 0 0 円
	その他の催物	1 時間につき	3 , 3 0 0 円

#### 備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは、当該単位未満の時間を 1 単位として計算する。
- 2 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 土曜日、日曜日及び休日（祝日法に規定する休日をいう。）の使用については、2 割増しとする。

4 照明施設及び冷暖房の使用については、規則で定める額とする。

(イ) 附属施設の使用

種別	単位	金額
ウエイトリフティング練習場	1時間につき	110円

備考

- 1 単位時間に満たない時間は、単位時間とする。
- 2 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。

(ウ) 器具、用具の使用

種別	単位	金額
U型バーベル	1セット1日につき	55円
U型バー	1本1日につき	33円
U型ラバーディスク	1枚1日につき	33円
記録用ディスク	1セット1日につき	33円
記録掲示器	1台1日につき	55円
試技順序器	1台1日につき	55円
マグネシウム容器	1台1日につき	33円
ディスクラック	1台1日につき	33円
リフトラック	1台1日につき	33円
スクワットラック	1台1日につき	55円
バーベルラック	1台1日につき	55円
松やに容器	1台1日につき	33円
体重計	1台1日につき	55円
ストップウォッチ	1個1日につき	33円
演技台	1台1日につき	440円
競技用プラットホーム	1台1日につき	110円
電光表示器	1台1日につき	440円
放送器具	一式1日につき	550円

備考 総額が1日につき5,500円を超える場合は、5,500円とする。



ケ 倉敷市営多目的広場

施設名	種別	単位	金額
玉島の森	個人使用	2 時間につき	3 3 円
	専用使用	1 時間につき	3 3 0 円
	部分使用（ 2 分の 1 まで）	1 時間につき	1 6 5 円
真備総合公園		1 時間につき	1 6 5 円

備考

- 1 使用時間が単位未満であるとき又は使用時間に単位未満の端数があるときは、当該単位未満の時間を 1 単位として計算する。
- 2 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。
- 3 入場料を徴収する場合は、1 日につき入場料総額の 1 割を加算する。
- 4 照明施設の使用については、規則で定める額とする。
- 5 第 1 3 条第 1 項に掲げる行為をする場合

種別	使用料
広告物の掲示	1 年につき 1 1 0 , 0 0 0 円以下で市長がその都度定める額
売店	市長がその都度定める額
自転車預り等	市長がその都度定める額